

子どもたちが生きていくこれからの社会は、society5.0 の時代で、AI（人工知能）が広く普及し、暮らし全般がますます便利になっていきます。

一方で、これまでの常識とされていることや、固定観念があらゆる場面で通用しなくなり、先行き不透明で変化の激しい社会になると言われています。

誰にも予想ができない社会だからこそ、時と場に応じて臨機応変に対応することや、自分一人だけで解決できない困難な問題は、他者と協働して解決していくことが求められます。

そうした力を育てるために韮の浦学園では、学校教育目標を「郷土福山を愛し、心身ともにたくましく意欲を持って主体的に学ぶ子どもの育成」とし、ふるさとの自然、人、歴史、伝統、文化に触れながら、学びをつなぎ深めることを大切に取り組んでおります。

韮の浦学園が開校して今年度で8年目を迎えます。これまで積み上げてきた取組を継承しながら、新たなことにも挑戦し、義務教育学校の良さを最大限に生み出しながら教育効果を高めて参りたいと思っております。

教職員は、授業を中心とした全ての教育活動の中で児童生徒一人一人の学びの姿を見て、良き理解者・伴走者としての役割を果たして参ります。

2026 年度（令和 8 年度）は、12 名の新入生を迎え、全校生徒 187 名（15 クラス）、教職員 42 名でスタートします。

地域・保護者の皆様には、これまで同様に韮の浦学園の教育活動について、ご理解・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2026 年（令和 8 年）4 月
福山市立韮の浦学園
校長 末房 宏康